

井林

たつ の り

- 瓦版第二十号 -

自由民主
LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所: 自由民主党本部
東京都千代田区永田町1-11-23
電話: 東京03(3581)6211(代)

自由民主党
静岡県第二選挙区支部
〒426-0037
藤枝市青木3-13-8
TEL 054-639-5801
FAX 054-639-5802
Mail office@t-ibayashi.com
井林たつりの国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館919号室
TEL 03-3508-7127
FAX 03-3508-3427

おかげさまで20号

経済再生!

in 志太・榛原

新しい形の地域経済政策



井林たつり 検索



《部内討議資料》

自民党 Lib Dems

井林



ポスター掲示
お願いします。

衆議院議員 井林たつり

生年月日 昭和51年7月18日(38才)
住所 藤枝市本町
本籍 榛原郡川根本町(お茶農家)

【経歴】
京都大学工学部、大学院工学研究科卒業
平成14年より国土交通省勤務
平成22年6月衆議院選挙挑戦のため退官
平成24年12月当選(一期目)
京都大学工学部非常勤講師も務める
【家族】妻・長女・次女 【趣味】野球、水泳
【好物】焼魚、白米、お茶

井林の一言コラム

庶民の味。ウナギを守れ!

「ウナギの減少」なんていうニュース。最近よく聞きますか?ウナギは、マリアナ諸島西側海域で産卵し、稚魚(レプトケファルス)が海流に乗りながら、シラスウナギに変態し川を遡り成鰻となり、また産卵場所へ戻ります。最近、一生海で過ごすウナギの存在が確認される等、生息が分からない所も数多くあります。

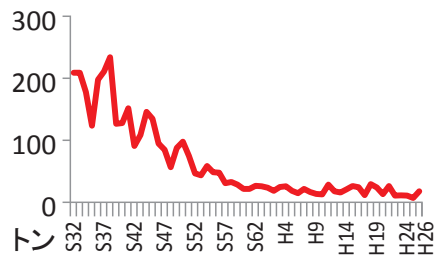
食卓に上るウナギの大半は日本近海で捕れたシラスウナギを1~2年養殖したのですが、シラスウナギが最近捕れなくなっています。シラスウナギの捕りすぎも指摘され、絶滅危惧種に指定されました。

世界のウナギの七割を消費すると言われる日本。ウナギの適正な保護活動も求められています。養鰻を届け出制に変えたり、いつまでもウナギが食卓に並ぶように力を尽くしてまいります。

水産庁は産卵量が減少し価格も高騰するウナギの取引を管理するため、年内にも養殖業者の届け出義務を導入する。稚魚シラスウナギは温暖な地域で採取し、養鰻業者が取り扱う。政府は「生産管理に向けた取り組み」を9月、中国、台湾、韓国と連携しウナギの生産量の制限で合意をめざす。年内にも養殖業者の届け出義務を導入する。2~3年後に許可、届出制を導入する。2023年以降は、許可制として管理を強化する。ウナギの産卵量を確保するため、先通許可制を河川や湖沼に導入する。また、ウナギの産卵量を確保するため、先通許可制を河川や湖沼に導入する。また、ウナギの産卵量を確保するため、先通許可制を河川や湖沼に導入する。

ウナギ養殖規制強化の新聞記事

ニホンウナギ稚魚 国内採捕量の推移



応援してください! ~自民党入党のお願い~

井林は、自民党の議員として活動しています。党員獲得(年会費四千元)も大きな仕事の一つです。お知り合いの方をご紹介ください。自民党への入党をお願いします! 下記FAX頂くか、電話(054-639-5801)又はメール(office@t-ibayashi.com)でお伝えください。皆様のご支援お願い申し上げます。

FAX 054-639-5802

お名前 _____
 ※入党は個人名のみとなります。
 住所 〒 _____
 TEL/ FAX _____ 生年月日 _____



今からが正念場!
安倍総理と誓いました。

経済再生 in 志太榛原

～利益誘導政治を超えて、国策に応じた地域経済活性化策～

◆国策に応じた地域経済活性化策

アベノミクスによる経済成長が期待され、また経済指標では経済が堅調です。しかし、地域の現状は？正直、実感出来ない状況です。今後は利益誘導型政治ではなく、国の政策に沿った地域経済活性化策を行うことが必要です。

そこで、経済再生策を政権公約を中心に取り上げて、今後の志太・榛原経済活性化を提案します。

◆今こそ、農業・林業・水産業！

今更農林水産業？という声が出てきそうですが、日本の人口は減少傾向ですが、世界の人口は爆発的に増えています。この成長を国内に取り組み方策を打ち立てています。志太・榛原地域は農林水産業が盛んな地域です。

農林水産業の6次化を推進。

2020年に市場規模を10兆円(現状1兆円)に拡大！

特に、水産業・水産加工業は日本の中心地です。水産日本の復活に向けて取り組みます。



〈漁船の進水式。水産加工業は多くの労働力を雇用。〉

「国別・品目別輸出目標」に基づき、2020年に農林水産物・食品の輸出額を1兆円(現状0.45兆円)へ！

輸出戦略の柱に、実はお茶も入っています。



〈広がる茶畑。世界に勝負！〉

技術開発や規制緩和(建築基準)で、国産木材自給率を5割以上(現状3割弱)に！

斜陽産業と言われて久しい林業にも新たな光が！自伐型林業という新しい林業形態とともに、林業再生へ！

◆無限の可能性を秘める観光業

2020年に年間訪日外国人旅行者2000万人(2013年1000万人)、2030年に3000万人超を目指します。

訪日外国人旅行者が年1300万人を超えると、成田・羽田はパンクすると言われています。その時、我が国第十位の外国人利用者数(地方管理空港では一番！)の富士山静岡空港は爆発的な利用増加が見込めます。そのための準備を！地域資源に磨きを！

〈何気ない日常も観光資源！〉



〈集落のお祭りも観光資源！〉

◆中小企業政策も盛りだくさん

農林水産業・観光業以外にも、中小企業政策や製造業政策なども多くあります。地域の特性に合わせて経済振興を！利益誘導ではなく、国の政策を引っ張る！そんな地域経済を目指します！